

安齋先生の技術通信

2010年
10月号



技術顧問・監事
安齋 正弘 先生

記録づくしの夏もようやく終わりを告げそうだ。こんな急激な異常気象は文字通り「異常」であって欲しいと思う。【喘息患者】となって以来「山登りと自転車」が禁じられていたが、今年春頃から「体質改善・体力回復」に取り組み、この酷暑を夏バテもなく乗り切った。来月は孫達と初心者向けの軽いハイキングに挑戦する予定です。

さて今月も引続き、「透湿抵抗の値」の表です。その続きは以下のようです。

代表的な建材の透湿抵抗の値 (2)

…前号、表(2)の続き。

⑨ 建材・材料厚さを特定したデータ

部材名	厚さ (mm)	透湿抵抗 ($m^2 \cdot h \cdot mmHg/g$)
石綿スレート		2.44
アスファルトフイグ(材料自体)		300
アスファルトフイグ(完全施工)		137
アスファルトフイグ(雑施工)		6
コンクリート	100	699
吹き付けタイル		50
アスファルトフェルト		5~3
防湿石膏ボード		(フヨダウーテ資料) 18.3
グラスウール・ロックウール	10	1.25
セルローズファイバー	100	1.25
防湿層付きグラスウール	50	17
発泡系断熱材	50	30~40
壁内空気層	10以上	0.24
壁内通気層	10以上	0.02
気密通気層(温度差無し)		0.2~0.42
気密通気層(温度差有り)		0.07~0.18
ポリエチレンシート	0.15	613
ポリエチレンシート	0.1	452
ポリエチレンシート	0.05	229
ビニールシート		78.4
防風防水透湿シート	0.2	0.087
アスファルトフイグ1(材料自体)	22kg	300
アスファルトフイグ2(完全施工)	22kg	137
アスファルトフイグ3(雑施工)	22kg	6

部材名	厚さ (mm)	透湿抵抗 ($m^2 \cdot h \cdot mmHg/g$)
アスファルトフェルト1	20kg	5
アスファルトフェルト2	20kg	3
パーティクルボード	15	9.43
シーリングボード		2.4
シーリングボード	12	2.9
シーリングボード アセダス R 12		0.9
シーリングボード アセダス D 12		1.3
通気シーリングボード	12	1.3
グラスウール・ロックウール	100	1.25
セルローズ	100	1.25
サイディング		7
スレート系サイディング		24.1
ビニール系サイディング		0.5
レンガ		2.64~21.3
伝統的なスタッコ(漆喰)		6.3
防湿プライマー		72.5
水性塗料		5.9~10.4
外部用アクリルペイント		6.6
アクリルエナメル		5.5
外部用オイルベース塗料		36.3~120.9
油性ペンキ		2.2

この表(2)というのは、特定の材料厚さに対しての値というのが前提なのですが、表には必ずしも厚さの欄が埋まっています。この辺の判断は皆様をお願いします。

さて、去年の8月号から「瑕疵とクレーム」をテーマに、先ず最初に始めたのが①「地盤と基礎」でした。そして次の検討対象が②「木と水」の関連で、【腐朽菌】そして【結露】や【断熱】問題に展開し、最後には【透湿抵抗】を知ることにより、「壁内結露」を未然に防ぐ理論みたいなどころまで辿り着いた感があります。

この辺で「木と水」の問題は一件落着とし、次のテーマを見つけて検討をしてみたいと思いますが、正直なかなかなか具体的なテーマが見つからず少々悩んでいます。どなたか私にテーマをください！おねがいします。

次回はどんな中味になるのやら？

技術的なご質問・ご相談などはこちらへ！
TEL : 048-224-8316 (川口事務局)

メール : question@mokutaikyo.com
FAX : 048-224-8315